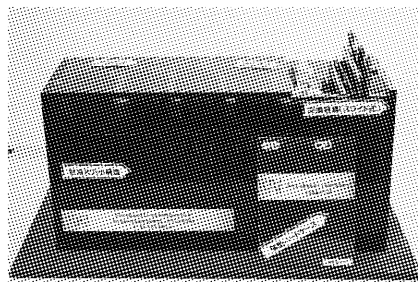


KRI、長寿命EV電池

サンプル 25年度出荷 延べ走行距離5倍



長寿命化したりチ
ウムイオン電池
(イメージ)

延べ走行距離を現状比5年度にもサンプル出荷する。蓄電容量30キワット時で設計してEVに適用した場合、延べ走行距離を従来の16万キロ程度から80万キロ以上にできる見込みという。車載

KRI（京都市下京5倍以上にできるリチウムイオン電池（Li電気自動車（EV）のB）の試作品を2025年度にもサンプル出荷する。蓄電容量30キワット時で設計してEVに適用した場合、延べ走行距離を従来の16万キロ程度から80万キロ以上にできる見込みという。車載

用途を中心に事業展開を検討する企業向けに提供し、企業の製品化を後押しする。KRIは大阪ガスの子会社。LiBはリチウムイオンが均一に反応しないことで、劣化が進むとされる。このため材料や電極構造などを見直し、反応を均一化させることが長寿命化実現の力ギとなる。

KRIは蓄電池の試作実証を手がける子会社エス・イー・アイ（津市）を通じ、反応の均一化について実証中。24年度中にも研究開発を完了させ、試作品を製作する計画。基本性能は蓄電容量が約10キワット時で、エネルギー密度が1リットル当たり約400ワットとする。

KRIは受託研究開発事業を手がけており、特に蓄電池分野では国内トップクラスの水準にある。22年に材料メーカーなどと組んでコンソーシアムを設立し、長寿命化に向けて研究開発を共同で続けてきた。

蓄電池の研究開発では、長寿命化が重要なテーマの一つになっている。背景にあるのは、資源の有効活用に関する潮流だ。EVが将来的に普及しても、使用

する電力が再生可能エネルギー由来でなければ、二酸化炭素（CO2）削減について大きな効果が期待できない。